



2010年 教育学部 第3問

3 数列 $\{a_n\}$ は等比数列で、その公比は0以上の実数であるとする。自然数 n に対して

$$S_n = \sum_{k=1}^n a_k, \quad T_n = \sum_{k=1}^n (-1)^{k-1} a_k, \quad U_n = \sum_{k=1}^n a_k^2$$

とすると、 n が奇数ならば、 $S_n \cdot T_n = U_n$ が成り立つことを示せ。

$$a_n = a \cdot r^{n-1} \quad (r \geq 0) \text{ とおくと。 (初項を } a, \text{ 公比を } r \text{ とした)}$$

$$S_n = \frac{a(1-r^n)}{1-r} \quad \dots \textcircled{1}$$

$$\text{また, } T_n = \sum_{k=1}^n (-1)^{k-1} \cdot a_k = \sum_{k=1}^n a \cdot (-r)^{k-1}$$

これは、初項 a 、公比 $-r$ の等比数列の和

$$\therefore T_n = \frac{a(1-(-r)^n)}{1+r} \quad \dots \textcircled{2}$$

$$\begin{aligned} \textcircled{1}, \textcircled{2} \text{ より, } S_n \cdot T_n &= \frac{a(1-r^n)}{1-r} \cdot \frac{a\{1-(-r)^n\}}{1+r} \\ &= \frac{a^2(1-r^n)\{1-(-r)^n\}}{1-r^2} \end{aligned}$$

ここで、 n が奇数のとき、 $1-(-r)^n = 1+r^n$ が成り立つから、

$$S_n \cdot T_n = \frac{a^2(1-r^{2n})}{1-r^2}$$

一方、数列 $\{a_n^2\}$ は初項が a^2 、公比が r^2 の等比数列であるから

$$U_n = \frac{a^2(1-r^{2n})}{1-r^2}$$

以上より、 n が奇数ならば $S_n \cdot T_n = U_n$ が成り立つ \square